

# 2016年11月8日 掲載 カーゴジャパン

## 第一貨物

## 2支店を統合し「庄内支店」を新設

### 庄内エリアをカバー、ロジ業務も本格的開始



庄内支店の外観



竣工式で挨拶する武藤社長

第一貨物(本社・山形県山形市、武藤幸規社長)は1日、酒

田支店(酒田市東両羽町)と鶴岡支店(鶴岡氏砂田町)を統合し、新たに庄内支店(山形県東田川郡三川町)を開設した。営業開始に先立ち10月28日に同支店の竣工式を執り行った。

竣工式で挨拶に立った武藤社長は「老朽化が進んだ酒田支店と鶴岡支店を統合し、両店の中間点に新たに庄内支店を開設した。127人の

スタッフが働き、路線便は17便を用意した。山形・新潟の県境エリアをカバーする支店となる。地域の約5000のお客様と全国の約1000のお客様へ向けたサービス充実に活用するとともに、山形の経済性・利便性向上に寄与していきたい」と語った。

同社は山形県内各地に事業所を配置しているが、酒田支店は1958年に開設後、72年9月に現在の酒田市東両羽町に移転し、鶴岡支店は58年に開設後、70年10月に現在の鶴岡市砂田町に移転した。その間、両支店とも老朽化が進んだため、将来的な事業所展開を見すえ、中間

地点に両店を統合し、新たに庄内支店を開設した。

庄内支店が立地するのは「みかわ産業団地」の一画で、同地は全面開通が待たれる日本海東北自動車道や東北中央自動車道にも近く、同社では庄内支店を日本海側ネットワークの主要拠点として、全国ネットワーク構築による輸送サービス拡充の第一歩とする考え。また、同支店では担当するエリア内は全て自社車両による配送を可能としている。

庄内支店は、敷地面積1万8664平方メートル、延床面積5004平方メートル。庄内支店は、ほぼ酒田支店と鶴岡支店を合わせたスペースとなっている。建物は鉄骨造、2階建て。約1800平方メートルの荷捌場、約680平方メートルの一時保管庫を備える。トラックベースは32ベース設置し、ドックレベラー5基を設置。また14メートルの大庇を備える。荷捌場、事務所ともに照明は長寿命LEDを採用した。仮眠室にはアルミ製で分解可能なカプセルベッドを設置した。セキュリティ対応としてはデジタル監視カメラ30台を設置し、敷地構内向け監視は夜間対応カメラを設置した。田畑に面した強風地帯のため、高さ3メートルの防雪柵を設置した。また、同支店の車両は営業車も含めて133台を保有する。

武藤社長は「酒田支店と鶴岡支店の統合は以前から構想しており、当社の支店統合構想の最後のエリアだった。庄内支店を開設した土地はみかわ産業団地内で最後に残っていた区画で、良い立地を得られたのは幸運だった」と語った。

庄内支店では新たにロジスティクス事業を開始する。これまで鶴岡支店で倉庫事業の一部として行っていたロジスティクス業務を行ってきたが、今後はロジスティクス事業として本格的に行っていく考え。

